

Exploring Gait and Posture

～病態の可視化から新たな臨床展開を掴む～

歩 行 姿 勢 の 障 害

【セミナー番号】

153110：オンデマンド配信

153108：対面参加・オンデマンド配信

における次世代の神経理学療法

公式HP

公式SNS(X)



会期

2026年3月7日

会場

目白大学 新宿キャンパス8号館

集会長

大沼 亮 (目白大学)

● Opening Remarks 集会長 大沼亮 (目白大学)

※ ●：オンデマンド配信あり

「歩行と姿勢の障害における次世代の理学療法～病態の可視化から新たな臨床展開を掴む～」

● Special Interest Groups (SIGs)

※ ●：オンデマンド配信なし

第2会場：姿勢障害

における

SIGs1「病態把握と具体的な評価方法の立案」

第3会場：歩行障害

SIGs2「具体的介入方法と臨床実践の提案」

ファシリテーター SIG1 大塚裕之 (昭和医科大学) 近藤夕騎 (関東学院大学) 五十嵐達也 (文京学院大学)

SIG2 関口雄介 (東北大学病院) 尾澤勇海 (国立精神・神経医療研究センター)

林祐介 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

● シンポジウム

脳卒中

パーキンソン病

脊髄小脳変性症

1 歩行障害における病態の可視化と神経理学療法実践

座長 藤野雄次 (順天堂大学) シンポジスト 富田洋介 (高崎健康福祉大学)

長谷川直哉 (北海道大学) 坂東杏太 (国立精神・神経医療研究センター病院)

2 姿勢障害における病態の可視化と神経理学療法実践

座長 金田純一郎 (日本保健医療大学) シンポジスト 大田瑞穂 (令和健康科学大学)

浦上英之 (大阪医科薬科大学病院) 奥田悠太 (脳血管研究所美原記念病院)

● 総合討論 司会 大沼亮 (目白大学) 菊池豊 (脳血管研究所美原記念病院)

「歩行と姿勢の障害における病態の可視化と新たな臨床展開を探る」

